

第6次総合振興計画将来像

第6次総合振興計画は、第5次総合振興計画の大枠を引き継ぐため将来像についても、基本的には大枠を引き継ぐ方向で検討しています。

未来に向かい、笑顔と活力を次の世代へ継承していくため、将来にわたりこの町に住み続けたい、また、松伏町に住んでみたいと思われるような町をめざすという考え方で3案をお示ししています。

(案1) みんなの笑顔を未来へつなぐ 緑あふれるまち まつぶし

「みんなの笑顔を未来へつなぐ」は、人と人が世代や分野を超えてつながることで、みんなが生きがいを持ち、笑顔で暮らす、活気・賑わいのあるまちを次世代へつないでいくという意味が込められています。

「緑あふれるまち まつぶし」は、次の世代にも引き継いでいきたい、松伏町の豊かな自然と、松伏町に住む実感としての豊かさの意味が込められています。

(案2) こどもから高齢者までの笑顔が 未来に広がるまち まつぶし

「こどもから高齢者までの笑顔が」は、こどもから高齢者までのすべての世代が笑顔で暮らす、誰一人取り残すことのないやさしい社会を目指すという意味が込められています。

「未来に広がるまち まつぶし」は、誇りの持てる松伏を発信し続け、未来に広く目を向け、何事にも積極的に挑戦し、交流が広がっていく意味が込められています。

(案3) 各世代の笑顔が 未来につながるまち まつぶし

「各世代の笑顔が」は、障がい者や性的少数者なども含めたすべての世代が笑顔で暮らす、誰一人取り残すことのないやさしい社会を目指すという意味が込められています。

「未来につながるまち まつぶし」は、活気・賑わいのあるまちが次世代へつながっていくという意味が込められています。